

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
-----------------	--------------	------------	--------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針														
法人の概要	<p>1 法人の事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送法に基づく超短波放送事業 ・放送番組の制作及び販売 ・出版および録音事業 ・音盤の製作および販売 ・映画会、音楽会、講演会等の企画と実施 ・放送に関する人材の育成のための教育事業 ・防災関連用品の企画、販売 ・前記各号に関連附帯する事業 <p>2 法人の設立目的</p> <p>上記事業を行うことを目的とします。</p> <p>3 法人のミッション</p> <p>地域社会に密着した、市民が主人公のコミュニティFMとして、川崎市の豊かなまちづくり、市民生活の安心安全に貢献します。</p>													
本市施策における法人の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報をタイムリーに提供します。 ・市民が発信する情報を通じ、地域のコミュニティづくりに貢献します。 ・災害時における緊急放送の担い手となります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">市総合計画上関連する政策等</th> <th style="width: 20%;">政策</th> <th style="width: 20%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">法人の取組と関連する市の計画</td> <td></td> <td>政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する</td> <td>施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進</td> </tr> <tr> <td>関連する市の分野別計画</td> <td colspan="2">川崎市地域防災計画</td> </tr> </tbody> </table>				市総合計画上関連する政策等	政策	施策	法人の取組と関連する市の計画		政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する	施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進	関連する市の分野別計画	川崎市地域防災計画	
	市総合計画上関連する政策等	政策	施策											
法人の取組と関連する市の計画		政策5-1 参加と協働により市民自治を推進する	施策5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進											
	関連する市の分野別計画	川崎市地域防災計画												
現状と課題	<p>1 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一のコミュニティFM局として、市政情報や安全・防災等の生活に役立つ情報から、音楽・芸術・スポーツ等の文化的な情報まで、地域密着の放送を継続しています。 ・コロナ禍のなか、スタジオ出演の人数制限を実施する一方で、電話出演を積極的に取り入れ、継続して地域のコミュニティづくりに貢献しています。 ・令和元年台風19号の際の特別放送の実施やコロナ関連情報の随時発信など、災害時には市民が必要とする地域のきめ細かい情報を迅速かつ的確に放送できるよう備えています。 ・平成29年度以降、継続して営業利益を確保しています。 ・AIアナウンサーを導入し、天気予報等の情報を発信しており、災害時には、長時間の放送にも備えることができます。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高単価で販売可能な生放送枠はほぼ完売しており、放送収入を増収するには実勢価格の値上げが必要になりますが、メディアの多様化によりラジオへの広告出稿は減少をしている中での値上げは厳しい状況です。また、今後も放送外収入の拡大にも取り組むなど、安定経営を継続していくことが求められています。 ・災害時における緊急放送の担い手として期待される役割は、近年の異常気象や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、一層重要になってきており、少人数で24時間365日災害時に備える体制の構築が急務であるといえます。 ・近年、放送局がある中原区を中心に川崎市では若い世代の転入者が多くなくなっていますが、そういった新しい市民に対する認知度向上が課題となっています。 													
取組の方向性	<p>1 経営改善項目</p> <p>市内に特化した地域情報、災害情報などの提供というコミュニティFMとしての役割を一層発揮していくとともに、引き続き、適正なコスト管理やスポンサー獲得に向けた積極的な営業活動を行い、本市に依存しない財務体質の確立を図ります。また、市民と地域をつなぎ、街が盛り上がる番組制作やSNSと連動した情報発信などを行い、認知度の向上を図ります。</p> <p>2 連携・活用項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一のコミュニティFMとして、広域ラジオやテレビなどのメディアではカバーしきれない市民向けのきめ細やかな情報を発信できることから、市政情報や地域安全・防災等の生活に役立つ情報、音楽・芸術・スポーツ・イベントなどの市の魅力情報の発信を行います。 ・リモート出演等、新しい生活様式に合わせ、引き続き市民が出演し情報発信ができる環境を作ります。 ・災害時においては、川崎市地域防災計画に規定されている重要な情報媒体として、総務企画局危機管理室と連携を図りながら、災害応急・復旧時に市民に不可欠な情報を的確かつタイムリーに放送します。 													

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

身近で役立つ魅力的な番組や地域安全・防災情報を提供するとともに、放送事業を中核とした収益の確保を図り、市に依存しない経営を目指します。

- ・市内唯一のコミュニティFMとして、地域の話や、行政・イベント・交通等の地域に密着したきめ細かな情報を提供し、自社ワイド番組での情報発信を強化します。
- ・音楽・スポーツ等、魅力ある番組制作を行うとともに、市民の放送参加や番組出演についても積極的に推進します。
- ・災害時における緊急放送の担い手としての役割を果たすため、定期的に緊急割込放送の訓練を実施するとともに、防災意識の啓発に向けた番組の放送を一層強化します。
- ・新規番組等の獲得に合わせて、放送料金の実勢価格の値上げ及び放送外事業の開拓拡大に取り組み、継続的な収益確保に努めます。
- ・新たに転入してきた市民(特に若い世代)に対する認知度を向上させるため、SNS等を活用した情報発信を積極的に行います。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	放送事業	地域情報の発信件数	3,365	3,000	3,310	件	a	A	II
		市民の放送参加人数	906	802	1,294	人	a		
		防災啓発番組の放送回数	212	165	214	回	a		
		事業別の行政サービスコスト	36,717 (41,187)	35,181 (40,993)	35,201 (41,637)	千円	2)	(2)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	市に依存しない経営体制の確立	営業費用のうち市財政支出額の占める割合(市財政支出額/営業費用)	53.2	50.3	47.2	%	a	A	II
		営業収益(市財政支出額を除く。)の推移	40,501	36,883	45,893	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	認知度の向上	認知度向上のための情報発信件数	651	300	3,587	件	a	A	II

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】
 (行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)
 (※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】
 (※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】
 (※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和3年度の市の総括を踏まえ、令和4年度も市に依存しない経営を目指し、解約防止のための既存番組スポンサーへのきめ細やかな対応を行うとともに、特別番組の売上獲得、株主優待制度利用に伴うCM制作や新規番組スポンサーの獲得に取り組みました。また、市民に開かれた情報共有の推進に貢献するため、地域情報の発信件数や市民の放送参加人数の増にも積極的に取り組み、災害時における緊急放送の担い手としても、アラートを活用した災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」を導入し、災害時に緊急災害情報の割込み放送を自動的にできる体制を整えました。また、認知度向上については、最重要課題の一つと捉え、SNSによる情報発信などの強化に取り組みました。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

全般にわたり着実に目標を達成し、市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報の発信、地域のコミュニティづくりに貢献しており、災害時における緊急放送の担い手としても、平時から防災情報等の提供を実施していました。
 特に市民の放送参加人数については、新しい企画を次々と実施するなど、積極的に取り組んだことのほか、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたこともあり、目標を大きく上回る実績をあげ、認知度の向上についても、限られた人員の中、SNSによる情報発信を強化するための体制を整備し、目標を大きく上回る実績をあげたことは評価できます。そして、株主優待制度の導入をはじめとしたこれらの取組が営業収益につなげていることも評価できます。
 令和5年度以降も、放送事業を中核とした収益の向上に努めつつ、市内唯一のコミュニティ放送局として、地域に密着したきめ細かな情報の発信や防災意識の啓発を通じて、市民に開かれた情報共有の推進に貢献していくことを期待します。

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)	
事業名	放送事業
計画 (Plan)	
現状	市民の身近な放送局として、市提供番組枠外においても市民に役立つ情報の提供や市民の番組出演を積極的に実施しています。防災関連放送については、コミュニティFMの最大のミッションとして取り組んでいます。市委託料の通減に対し、市委託料以外の民間等の売上増により事業収益の確保に努めています。
行動計画	ワイド番組(自社放送枠)内で、地域密着情報の発信、ニーズの高い市政情報の発信や市民の放送参加を可能な限り拡大します。また、防災関連については市と連携した訓練や防災啓発番組等の強化を推進します。
具体的な取組内容	自社ワイド番組内で、地域密着情報やニーズの高い市政情報を積極的に提供します。また、多くの市民が番組出演できる企画の立案等を行います。防災関連については、緊急割込み放送の実施に加え、行政の防災訓練を取材し、災害時放送の周知を図るとともに、防災啓発番組に取り組み、市民の防災意識の向上に貢献します。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市が発信する情報を基にした新型コロナウイルス感染症に関する情報をはじめ、巡回市民オンブズマンのお知らせや献血に関する情報、防犯対策情報など多くの情報を定期的又は随時発信しました。 ・かわさきスポーツパートナーの選手出演や、選手の地域活動の情報も積極的に発信しました。また、令和4年度は中原区ソーシャルデザインセンターの活動に加え、中原区が共催する音楽とダンスの祭典「In Unity2023」の実行委員会にも参加し、そこから得られた地域のイベント情報なども積極的に発信しました。更に、自社HPの「情報募集」に寄せられた情報、連携する他メディアと共有した地域情報や地域団体からのイベント情報などを発信しました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生・高校生などを対象にした「放送部さんいらっしやーい」という企画を実施し、生徒自らが番組制作し出演いただきました(5校)。また、インターンや職場体験なども積極的に受け入れ、市内の各学校の学生・生徒が放送に参加しました(10校)。 ・「若き経営者の挑戦」という企画も実施し、川崎市内の企業経営者に出演いただきました。また、「In Unity2023」や「高校生バンド王2023inかわさき」の出演団体、自社HPの「情報募集」に市民活動情報を寄せていただいた市民にも出演していただきました。 <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■わが家の危機管理／計104回 ■かわさきぼうさいひろば・割込放送／計12回 ■備える。かわさき／計57回 ■防災一ロメモ／計12回 ■川崎市防災訓練 素材出し／計5回(総合防災訓練、区防災訓練、地区防災訓練) ■防災番組、ゲスト出演 計6回 ■「備えるフェスタ」関連 計18回(素材放送) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規に導入した、Lアラートを活用した災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」の割込機能を使って、9月の台風時に台風情報の割込放送を実施しました(3回)。また、「ラジアラート」を活用し、SNS等で気象情報、停電情報、地震情報を発信しました。 ・昨年より継続して、かわさき7カ国語情報をspotifyで、ラジオ講座など一部番組をYouTube等でアーカイブ化を行って自社HPに掲載し、いつでも聴取できるようにしています。

評価 (Check)								
本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	地域情報の発信件数	目標値	3,365	3,000	3,220	3,430	3,640	件
	説明 自社ワイド番組での地域情報発信件数	実績値		3,310				
2	市民の放送参加人数	目標値	906	802	1,400 845	1,450 887	1,500 930	人
	説明 自社ワイド番組出演の市民の人数	実績値		1,294				
3	防災啓発番組の放送回数	目標値	212	165	170	175	185	回
	説明 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数	実績値		214				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

地域情報の発信については、地域情報の発信の更なる強化を自社の使命として、イベント情報、市民団体の活動情報や自社HPの「情報募集」コーナーを通じて市民から得た地域情報を自社ワイド番組内で発信しました。また、市民の放送参加については、新企画の実施、自社HP「情報募集」から情報提供いただいた市民の出演など市民参加の機会を増やしたほか、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながらスタジオ入出制限を解除したことなどにより、コロナ禍前の水準に回復することができました。防災訓練放送及び防災啓発番組については、コミュニティ放送局として、引き続き、最重要のテーマとして取り組み、総合防災訓練や区の防災訓練のほか、地域の防災訓練の様子も放送し、防災の大切さを伝えました。これらの取組により、各指標で目標値を上回ることができました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 各指標とも、前年度に続き、高い意識で計画的に取り組んだ結果、目標値を上回ることができました。特に、市民の放送参加人数については、新企画を次々と実施し、コロナ禍以前の実績まで回復することができました。各指標の目標値を達成したことにより、市民生活に必要な情報の提供や市の魅力発信に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		35,181 (40,993)	33,802 (43,600) (42,494)	32,478 (47,100) (42,445)	31,208 (45,900) (41,116)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)		実績値	36,717 (41,187)	35,201 (41,637)		
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市財政支出(委託料)については、令和3年度から削減しながらも、株主優待制度利用に伴う売上げが増えたことから、目標値とほぼ同額の実績値となりましたが、市民生活に必要な地域情報の発信等を着実に進めることができました。また、直接事業費については、前年度に比べ、営業収益増に伴う売上原価(制作費など)や昨今の社会情勢による水道光熱費(電気代)が増加したほか、待遇改善や目標管理制度導入(半期ごとに目標達成度に応じた賞与支給など)による人件費、Lアラートを活用した災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」導入に伴うランニングコストが増加した一方、第1・第2スタジオ更新の放送機材等の減価償却費や、解約した来客用駐車場代などが前年度から減少しました。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 行政サービスコストについては目標値とほぼ同額の実績値を達成し、本市財政支出(委託料)を令和3年度から削減できたため、市に依存しない経営に向けた取組みが着実に進んでいます。本市施策推進に関する指標の目標値は、全て上回り、市民が知りたい地域情報をよりタイムリーに提供することができているので、費用対効果は概ね十分と考えます。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	市に依存しない経営体制の確立
計画 (Plan)	
現状	令和2年度決算における営業費用のうち市財政支出額の占める割合は52.9%と前年度比で減少し、市財政支出額を除く営業収益の額は37,668千円と前年度比で増加しています。
行動計画	引き続き、スポンサー獲得に向けた積極的な営業活動により、放送枠・スポットCM等の販売を強化するだけでなく、朗読セミナーなど、放送外の収益も確保するとともに、適正なコスト管理により、費用を縮減します。
具体的な取組内容	引き続き、取材先や地域活動への参加を通じて面識を持った企業・団体への営業活動などを行い、新規スポンサーの獲得に取り組むとともに、朗読セミナーの開催やイベント司会の派遣などの放送外収入の拡大にも取り組みます。また、更なるコスト削減に向けた検討にも取り組みます。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1及び指標2関連】</p> <p>R4年度 営業収益(市財政支出額を除く.): 45,894千円 市財政支出額: 35,201千円 営業費用: 74,614千円</p> <p>【放送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を締結した金融機関による地域活性化へ向けた取組を紹介する番組や、YouTubeでのアーカイブ放送も行ったラジオ講座などの新規番組を獲得しました。また、令和3年度に続き、かわさきスポーツパートナーであるスポーツチームの実況中継を実施しました。 ・令和4年度から開始した株主優待制度(スポットCM枠の提供)の利用によるCM制作を受注しました。 ・市制100周年事業の一環として開催した、川崎市在住・在校の高校生を対象とした「高校生バンド王2023inかわさき」の生中継などを実施しました。 <p>【放送外収入】</p> <p>朗読セミナーは受講人数を増やし、前期後期各2回実施したほか、スポーツチームの祝勝会、マイナンバー普及イベントなどの司会業務も受注しました。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化や事故防止などの観点から、請求書発行の外部委託による作業工数の削減や、放送同時録音方法の変更(CD-Rからデータ保存)、現金取扱い業務の削減(朗読セミナー受講料の振込化など)を実施しました。 ・令和4年度から番組表の紙面を拡大して広告枠を拡充しました。
---------------	---

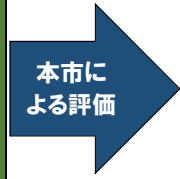
評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	営業費用のうち市財政支出額の占める割合(市財政支出額/営業費用)	目標値	/	50.3	44.4 47.0	40.8 45.4	39.8 44.0	%
	説明 営業費用(売上原価、販売費及び一般管理費)に占める市財政支出額の比率	実績値		53.2	47.2			
2	営業収益(市財政支出額を除く。)の推移	目標値	/	36,883	47,000 38,089	48,500 39,889	50,000 41,089	千円
	説明 営業収益から市財政支出額を除いた額	実績値		40,501	45,893			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

積極的な営業活動や取組のほか、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたこともあり、新規番組スポンサーの獲得や司会派遣受注、朗読セミナーの受講人数増など放送収入及び放送外収入とも前年度から向上し、売上全体としても前年度を上回る実績をあげることができました。これらにより、各指標で目標値を達成することができました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 令和4年度は市財政支出額(委託料)が削減される中、新規番組や特別番組の獲得など法人が精力的に活動し、自主財源の獲得に取り組んだ結果、市財政支出額(委託料)を除く営業収益を高い水準で確保し、各指標とも目標値を達成することができました。これらの取組と結果が、市に依存しない経営体制の確立に向けて着実に進んでいると評価できるため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室
----------	--------------	-----	--------------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	認知度の向上
計画 (Plan)	
現状	市内の認知度は必ずしも高いとは言えず、放送サービスを安定的に提供するための収益確保に向けて、認知度向上への取組の推進が求められています。
行動計画	ホームページやSNS等を活用し、認知度向上に資する情報発信の強化を推進します。その取組の中で、アウトカム指標(アクセス数、SNSフォロワー数等)を参考にしながら発信する情報内容の改善等を図ります。
具体的な取組内容	ホームページや公式Twitterなどにより番組情報や出演者情報などを積極的に発信するとともに、Twitter上の返信内容を放送で取り上げるなど番組と連携強化するなどして、認知度の向上を図ります。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】 公式ホームページに連動している公式Twitterを活用し、番組情報及び出演者情報を可能な限り発信したほか、スタッフアカウント等で発信したツイート(番組内で取り上げた画像付きの情報など)をリツイート機能を用いて発信しました。また、リアルタイムに返信があった内容を番組に取り上げるなどの連携にも取り組みました。</p> <p>【その他】 ・実証実験「乗り合い送迎サービス『チョイソコかわさき』」の車内(中原区内など)にて、かわさきFMを流しました。 ・市制100周年事業の一環として、川崎市在住・在校の高校生を対象とした「高校生バンド王2023inかわさき」を市内企業と共催にて開催(川崎ルフロン)し、40を超える応募があるなど若者を応援し、賑わいを創出することができました。 ・中原ソーシャルデザインセンターなど地域活動に積極的に参加し、地域の方々知ってもらえる機会を作りました。</p>
---------------	--

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	認知度向上のための情報発信件数	目標値	651	300	3,600 375	3,700 450	3,800 500	件
	説明 HPやSNS等を活用した情報発信件数	実績値		3,587				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
認知度向上については、最重要課題の一つと捉え、令和4年度からSNS広報チーム(4名)を組織して、SNSによる情報発信を強化した結果、令和3年度の実績及び令和4年度の目標値を大幅に上回ることができました。情報発信の強化に当たっては、誰でも発信しやすいようにテンプレートを作成し、毎月の目標管理を行いました。また、リスナーメッセージも随時、番組内で取り上げ、番組連携を図ることができました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多かった E. 現状を大幅に下回った	A 新しい経営体制に代わり、認知度向上を最重要課題の一つと捉え、限られた人員の中で、精力的に業務に取り組んだ結果、目標値を大幅に上回ることができたため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
損益計算書	営業収益	77,219	81,095			
	営業費用(売上原価)	39,782	41,637			
	営業費用(販売費及び一般管理費)	29,193	32,977			
	うち減価償却費	4,521	3,724			
	営業損益	8,243	6,481			
	営業外収益	66	14			
	営業外費用					
	経常損益	8,309	6,495			
	税引前当期純利益	8,309	6,495			
税引後当期純利益	6,346	5,223				
貸借対照表	総資産	185,520	194,589			
	流動資産	111,955	131,244			
	固定資産	73,564	63,345			
	総負債	14,189	18,036			
	流動負債	7,913	10,291			
	固定負債	6,276	7,745			
	純資産	171,330	176,553			
	資本金	100,000	100,000			
	剰余金等	71,330	76,553			

主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
営業収益	放送収入	73,215	75,965			
営業収益	経常費用(売上原価+販管費+営業外費用)	68,975	74,614			
総資産	現金・預金	102,818	121,647			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)					

本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金						
負担金						
委託料		36,717	35,201			
指定管理料						
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		77,000	77,000			
(市出捐率)		55.0%	55.0%			

財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		1414.8%	1275.3%			
有利子負債比率(有利子負債/純資産)						
経常収支比率(経常収益/経常費用)		112.0%	108.7%			
純資産比率(純資産/総資産)		92.4%	90.7%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用		53.2%	47.2%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益		47.5%	43.4%			

法人コメント		本市コメント	
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど	
<p>営業収益については、前年度から約387万円増やすことができました。その要因は、新型コロナウイルス感染症の影響が令和3年度ほどではなく、積極的な営業活動により、新規レギュラー番組獲得や、ランチ講座、公開出張生放送などの特別番組の獲得に加え、通期で参加人数を増やした上で朗読セミナーが開催できたことによるものです。</p> <p>営業費用については、前年度から約563万円増えました。その要因は、スポーツ中継制作の外部委託費や、災害時の放送強化を目的としたアラート活用の災害情報自動読み上げシステム「ラジアラート」導入に伴うランニングコストのほか、放送や広報チーム強化のために採用した準社員(非常勤)の給与や、職員の成長を促す意欲向上などを目的とした評価制度導入(目標達成度合いに基づく賞与などの支給)に伴う人件費などが増えたことによるものです。</p> <p>令和4年度は、営業収益の増加以上に営業費用が増加したため、前年度に比べ、営業損益は減少しましたが、一定の利益を確保しており、安定した放送サービスの提供や職員の待遇改善などに必要な経費の支出と認識しています。</p>	<p>引き続き、放送サービスを安定的に提供するため、川崎市の充実したスポーツコンテンツを生かした市民参加型の魅力ある番組を企画するなど認知度向上を図りながら、新規獲得スポンサーを中心とした放送料金の実勢価格の改善など放送事業の収益向上のほか、朗読セミナーの開催回数を増やすなど放送外事業を開拓拡大し、営業収益の向上に取り組めます。また、引き続き、業務の合理化や職員の労働環境の改善、組織体制の強化にも取り組めます。</p> <p>これらの取組を推進し、令和5年度以降の市財政支出額を除く営業収益については、市委託料の削減を踏まえるように、令和5年度4,700万円、令和6年度4,850万円、令和7年度5,000万円を目指します。</p>	<p>令和4年度も、必要な経費を支出しながら、新規のレギュラー番組や特別番組の獲得、通期で受講人数を増やしての朗読セミナーの開催に加え、令和4年度から導入した株主優待制度(CM枠無償提供)の利用に伴うCM制作の受注など、収益確保に向けた様々な取組を実施し、営業損益については、前年度には及ばなかったものの、一定の利益を確保したことは評価できます。</p> <p>今後も放送サービスを安定的に提供するため、設備投資など必要な経費を支出しながら、営業収益の向上に向けた取組を一層進めることを期待します。</p>	

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	0	10	1	0
職員	4	0	0	6	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性